

一 解答

- 1 郵便局
2 末永（長）（く）
3 済（んだ）
4 幼（い）
5 棒
- 6 くう
7 （お）りこう
8 たば

二

五
四
三 解説
五
四
三
二
一

7 3 4 5 4 7 6 5 4 3 2 1
エ 時任さ ウ イ オ イ ライ
ウ オ イ オ エ ウ ①A
ウ ア ア エ オ ①B
ウ エ エ ア

五
四
三
二
一

7 6 5 4 3 2 1
エ 時任さ ウ イ オ イ ライ
ア、イ

——線④の前に着目します。尾長の声を聞いて秋の到来を感じる様子から、選択肢Aが適切です。
選択肢ウの「自然のおだやかさ、激しさを擬声語によつて」の部分がふさわしくありません。本文の中に「ぎ
い、ぎい、ぎ」という擬声語が使われていますが、「自然のおだやかさ、激しさ」ではなく、尾長の鳴き声
を表し、秋の訪れを表現しています。

——線③に含まれる「きつぱり」とは「はつきり」という意味です。直前の発言で、先生が自分の意見を断言
している様子から、選択肢オがふさわしいことがわかります。

五段落目にある「小さいころから」で始まる一文に着目すると、選択肢ウと同じ内容を言い表していることが
わかります。

——線③を含む段落の内容をおさえます。問題文の「具体的に」という文言に注意しながら、理由に該当する
箇所を探すと、「イライ」から始まる一文が適当であることがわかります。

本文の終わりにある金本さんの発言に着目します。最後の一文に「最終的に、目先の困難に耐えられ、乗り越
えられる人間になつてほしいと思つています」から、選択肢エがこの文章の内容と合っていることがわかりま
す。